

地域包括ケアネットワーク No.1

岡山市医師会理事 片岡 廉
医療法人 片岡内科医院院長

岡山県民の3分の1以上が集中する岡山市は全国的にみても、医療や介護サービス環境において優れた都市といえるでしょう。高齢者が住み慣れた地域で、安心して医療や介護が受けられ、疾病予防に積極的に取り組む保健や福祉サービスを充実させる。そうした社会を旨とする地域包括ケアにおいて、岡山市は県内で最も充実した基盤があるといえます。しかしそれぞれが果たす役割や相互間の連携が不十分であるため、住民が満足する地域包括ケアの実現にはいまだ程遠いのが現状です。岡山市医師会は昨年6月内田会長の就任後、在宅ケアの推進や認知症対策を重点項目に挙げ、岡山市民や市医師会員を始めとする地域医療関係者、介護福祉サービス関係者への研修会や講演事業を通し、これらの積極的な啓発活動を行っています。

その代表的活動としては、

1) 第14回岡山市民と医師会の集い (H25年10月27日)

「家族でささえる認知症」をテーマとしてシンポジウムが開催され、岡山市保健福祉局高齢者福祉課は「行政の立場から」、岡山市東区地域包括支援センターは「地域支援の立場から」、岡山市居宅介護支援センター看護協会は「ケアマネ・訪問看護の立場から」、かかりつけ医は「医師の立場から」と、それぞれの分野における代表者がシンポジストとなり、参加された約300名に及ぶ岡山市民との間で、地域や家族でいかに認知症の患者を支えていくかについて積極的な意見交換が行われた。

2) 第28回岡山市医師会生涯教育委員会シンポジウム (H26年1月25日)

テーマとして「医療・介護・在宅の連携～末期がん在宅看取り～」と題して、緩和医療の専門医、病院医師、ケアマネージャー、訪問看護師、在宅医療に取り組むかかりつけ医の計6名の関係者が参加し、在宅で末期がん患者を看取る上での課題や問題点について、会場参加者を交えて白熱した討論がなされた。

3) 岡山市医師会プライマリ・ケア研究会

第141回 演題：在宅皮膚疾患～褥瘡を中心に～ (H25年11月8日)

第142回 演題：岡山市における在宅医療の展望 (H26年1月10日)

第143回 演題：病院機能と在宅医療からみたプライマリ・ケア 地域医療連携についての一考察 (H26年3月14日)

第144回 演題：医師と薬剤師の医療面接と服薬指導 (H26年6月11日)

毎回在宅医療を取り巻く諸問題を取り上げ、参加者と一体なって討論を行っている。

ここ1年では、皮膚科専門医の在宅皮膚疾患について、岡山市における在宅医療の課題、病院医師を経験した診療所医師が提案する地域医療連携の在り方、薬剤師を交えた医療面接の研修などの内容で開催している。

4) 岡山市訪問診療スタート支援研修会

H24年から岡山市が推進する、訪問診療医を育てる目的で始まった研修会である。H26年度からは岡山市医師会が積極的に支援を行い、本年9月末までに以下の研修会が終了している。

第1回 (H26年6月11日)

演題：在宅医療の実際 演題：教育プログラムの特徴と計画

第2回(H26年7月14日)

テーマ：在宅医療に関する医師のベストプラクティス～在宅医が有すべき技能(地域包括ケアに必要な技術やその実践力等)について考える(グループディスカッション)

第3回(H26年8月22日)

テーマ：在宅医療における臨床倫理(症例検討+小グループディスカッション)

第4回(H26年9月12日)

テーマ：在宅医療の困難事例の症例検討会(岡山市プライマリ・ケア研修会と共催)

第5回(H26年10月8日 予定)

テーマ：看取りについて患者個人の意思をどこまでどのように尊重するか(グループディスカッション)

10月以降もH27年2月まで毎月開催の予定で、岡山市の在宅医療推進に市医師会は参入している。

以上のように岡山市医師会は、地域包括ケアに関わる多職種との研修会を開催するとともに、在宅医療を推進するための様々な取り組みを行っています。

第14回岡山市民と医師会の集い(H25年10月27日) 参加者 295名

テーマ：家族でささえる認知症

第141回岡山市医師会プライマリ・ケア研究会(H25年11月8日)

演題：在宅皮膚疾患～褥瘡を中心に～

講師：医療法人連理木 松浦皮膚科医院院長 松浦浩徳

第28回岡山市医師会生涯教育委員会シンポジウム(H26年1月25日)

シンポジウム

- 1) がん診療拠点病院の在宅医療の支援の意義
岡山赤十字病院緩和ケア科副部長 渡辺健太郎
- 2) 在宅看取りが困難な事例について～高齢血液腫瘍患者の終末期医療について～
岡山市立市民病院血液・腫瘍センター副センター長 山本和彦
- 3) 在宅看取りをサポートするケアマネージャーとして
岡山市医師会指定居宅介護支援事業所管理者 森 伸子
- 4) 在宅看取りをサポートする訪問看護師として
岡山市医師会訪問看護ステーション管理者 古市由香
- 5) 今後在宅看取りを取り組んでいくかかりつけ医として
長井クリニック院長 長井一郎
- 6) 当院での在宅看取りの現状と方向性
ながい内科クリニック院長 永井 宏

かかりつけ医認知症対応力向上研修会(H26年2月15日)

- 1) 演題：認知症のBPSD治療
講師：慈圭病院研究部長 石津秀樹
- 2) 演題：生活習慣病と認知症
講師：川崎医科大学附属川崎病院心療科部長(教授) 石原武士

主治医意見書研修会(H26年3月6日)

演題：在宅医療と主治医意見書

講師：ながい内科クリニック院長 永井 宏

第142回岡山市医師会プライマリ・ケア研究会 (H26年1月10日)

演題：岡山市における在宅医療の展望

講師：岡山大学病院医歯薬学総合研究科 疫学・衛生学分野教授 土居弘幸

第143回岡山市医師会プライマリ・ケア研究会 (H26年3月14日)

演題：病院機能と在宅医療からみたプライマリ・ケア 地域医療連携についての一考察

講師：内科・循環器内科 氏平医院副院長 氏平 徹

第144回岡山市医師会プライマリ・ケア研究会 (H26年6月11日)

演題：医師と薬剤師の医療面接と服薬指導

講師：岡山SP研究会代表 前田純子

岡山大学病院薬剤部 猪田宏美

主治医意見書研修会 (H26年6月9日)

演題：主治医意見書記載時の注意点

講師：片岡内科医院院長 片岡 廉 (岡山市医師会理事)

①岡山市訪問診療スタート支援研修会 (H26年6月11日)

演題：在宅医療の実際

講師：佐藤医院院長 佐藤涼介 (岡山市医師会副会長)

演題：教育プログラムの特徴と計画

講師：岡山大学病院医歯薬学総合研究科 疫学・衛生学分野教授 土居弘幸

②岡山市訪問診療スタート支援研修会 (H26年7月14日)

テーマ：在宅医療に関する医師のベストプラクティス～在宅医が有すべき技能 (地域包括ケアに必要な技術やその実践力等)について考える (グループディスカッション)

講師：岡山大学病院医歯薬学総合研究科 疫学・衛生学分野教授 土居弘幸

③岡山市訪問診療スタート支援研修会 (H26年8月22日)

テーマ：在宅医療における臨床倫理 (症例検討+小グループディスカッション)

講師：岡山大学病院医歯薬学総合研究科 疫学・衛生学分野教授 土居弘幸

④岡山市訪問診療スタート支援研修会 (H26年9月12日)

テーマ：在宅医療の困難事例の症例検討会 (岡山市プライマリ・ケア研修会と共催)

(1) 演題 緩和ケアの基礎知識

講師 岡山済生会病院総合病院診療部長・緩和ケア担当責任者 石原竜彦

(2) 演題 癌の疼痛緩和の症例

講師 岡山訪問看護ステーション看護協会管理者 菅崎仁美

(3) 演題 在宅での緩和の症例

講師 ももたろう往診クリニック院長 小森栄作

⑤岡山市訪問診療スタート支援研修会 (H26年10月8日)

テーマ：看取りについて患者個人の意思をどこまで、どのように尊重するか (グループディスカッション)

(後援)

在宅医療 はじめの一步 ～制度と理念とノウハウを学ぼう～ (H26年8月26日)

第3回世界アルツハイマーデー記念講演会 in 岡山 (H26年9月25日)